

委員会視察成果報告書

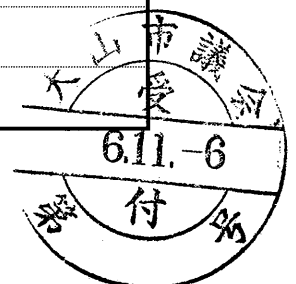
令和 6年 11月 6日

犬山市議会議長

議員名 柴山一生

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和6年 年 11月 1日(金) ~ 年 月 日() (泊 1日)
(2) 視 察 地	常滑市
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会 (建設経済 委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	別紙参照
(5) 犬 山 市 に 対する提言	別紙参照



令和 6 年 11 月 5 日

犬山市議会議長
柴田ひろゆき様

犬山市議会清風会 柴山一生

建設経済委員会 2024 視察報告

日時：令和 6 年 11 月 1 日

初日： 常滑市

視察項目：宿泊税

視察内容概要

常滑市は、2005 年 2 月 17 日に開業した中部国際空港が、大きな経済効果を与えることになるはずだった。固定資産税は 2024 年 3 月決算で約 4 億円。意外に少ない。470 ヘクタール。空港島は 580 ヘクタール。

問題は、空港利用客が、常滑繁華街を素通り。これを何とかしたいという市長の強い思いが、空港島と常滑繁華街をシャトルバスで結ぶアイデアに集約された。財源は？となり、観光施策は、やはり観光客から得るべきだと宿泊税を宿泊者数は 2019 年で 110 万人、コロナ後の 2023 年で 79 万 6 千人。犬山の 2022 年で 110304 人約 10 分の 1。

常滑市は、毎年約 2 億円の歳入を見込んでいる。メイン施策は毎日走らせるコミュニティバス。空港島から市内中心部へ。約 8000 万円の支出。その他、観光振興、多言語対応などの施策に税は使われるそう。

令和 7 年 1 月 6 日施行。

犬山への提言

賛成理由

- ① 城下町以外の地域からは、観光にそんなに市税を投入するなというご批判は多い。これで上がった税を観光に振り向け、今まで観光に使っていた市税を縮減すれば市民にも歓迎されるだろう。
- ② 宿泊客にとっては、200 円程度なら、WTP にみあうだろうから、負の面はなさそう。

反対理由

- ① もし観光費の縮減が行われないうであれば、どんどん行政は肥大化する。
- ② 現在の宿泊者数であれば、約 2000 万円の税収増。税の使い道を工夫し、観光客の目に得るような施策を打たなければ、ただ漫然と増税したように映るだろう。